

J Aバンク鳥取ちょきんぎょカップ 第23回鳥取県U-10サッカー大会 大会要項

- 1：主 旨 たくさんの子供たちにサッカーの楽しさを知ってもらい、サッカーを通じて多くの人々と交流を深め、サッカーファミリーとして夢を持ち続け、心豊かな人間となってくれることを目的とした大会である。この目的のため、サポーター、指導者が魅力・模範となるような応援マナー、指導を表現する研修の場とする。
- 2：名 称 第23回鳥取県U-10サッカー大会
- 3：主 催 一般財団法人鳥取県サッカー協会
- 4：共 催 J Aバンク鳥取、新日本海新聞社
- 5：主 管 一般財団法人鳥取県サッカー協会第4種委員会
- 6：後 援 なし
- 7：協 賛 なし
- 8：協 力 一般財団法人鳥取県サッカー協会第4種委員会中部地区委員
- 9：日 程

【地区予選会】

東部地区予選会 9月5～6日（土、日）[カ・コ・ホ トラズ ヲ ヲ ソホ -ツパ -ク球技場]

中部地区予選会 9月5～6日（土、日）[東郷運動公園多目的広場]

西部地区予選会 9月5～6日（土、日）[鳥取県フットボールセンター-大山夕陽の丘神田]

【鳥取県大会】

開催日：9月19日（土）～9月20日（日）

会 場：湯梨浜町東郷運動公園多目的広場

10：参加資格

- (1)「参加チーム」は、開催実施年度に公益財団法人日本サッカー協会（以下「JFA」）第4種に加盟登録したチーム（以下「加盟チーム」）であること。
- (2) 上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
- (3)「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する小学校4年生以下の選手であること。
- (4) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1名以上がJFA公認コーチ資格（D級コーチ以上）、公認サッカー審判員資格（4級以上）を有すること。
- (5)「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。

11：参加チームとその数

「参加チーム」は、各地区から選出された全16チームによる。

地区の内訳 東部地区6チーム、中部地区4チーム、西部地区6チーム。

1 2：大会形式

- (1) 参加16チームを4グループに振り分けトーナメントによるノックアウト方式で行う。
- (2) 悪天候等自然条件によって、大会実施が出来ない場合は以下の方法により上位進出チーム及び代表チームを決定する。
抽選により決定。抽選方法は事務局が決定する。

1 3：競技規則 開催実施年度のJFA「8人制サッカー競技規則」による。

1 4：競技会規定

- (1) 競技のフィールド：ピッチサイズは原則68m以内×50m以内であること。
- (2) ボール：試合球は少年用4号球とする。
- (3) 競技者の数
 - ① 競技者の数：8 名
※8 人に満たない場合は試合を開始しない。試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する。
 - ② 交代要員の数：8 名以内
 - ③ 交代を行うことができる数：制限なし
※交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。
 - ④ 各試合において、登録選手全員に15分以上の出場機会を与えること。
- (4) 役員の数：ベンチ入りできる役員の数：3 名以内
- (5) 交代の手続き：以下
 - ① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。ただし、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
 - ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - ③ 交代はボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
 - ④ 交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。
 - ⑤ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
注) 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- (6) テクニカルエリア：設置する
※その都度ただ1 人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。
- (7) 競技者の用具：ユニフォーム
 - a. 選手番号については、事前のエントリー表に試合ごとに選手番号を記入し個人を特定する。
 - b.登録した正・副 2 組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
 - c.正・副の 2 色については明確に異なる色とする。

- d.主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- e.前項の場合、主審は、両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- f.ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- g.アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- h.アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- i.ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本協議会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
- j.ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。

(8) 試合時間

- ①試合時間は30分（前後半各15分）とする。

ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）：原則5分間

- ②規定の試合時間内に勝敗が決しない場合

10分間(前後半各5分)の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティキック方式（3人制）により勝利チームを決定する。

延長戦に入る前のインターバル：原則5分間

ペナルティキック方式に入る前のインターバル：原則1分間

(9) 審判員 主審1名と補助審判員1名の計2名にて行う。

(10) その他

- ①審判員および運営者が協議し両チームが了承した上で、暑熱下において前・後半中程に飲水タイムを採用することができる。
- ②負傷者の対応：主審が認めた場合のみ、最大2名の役員がピッチへの入場を許可される。

15： 懲 罰

- (1) 本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (2) 大会規律委員会の委員長は当協会第4種委員長会長とし、委員については委員長が決定する。
- (3) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については規律委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (5) 本協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

16：大会参加申込

- (1) 1チームあたり 20名以内(帯同審判員を含む役員4名まで、選手8名以上16名以内)とする。
- (2) 参加チームは、所定の用紙に必要事項を記入の上、各地区の大会担当者へ送付すること。

17：参加料 なし

18：選手証

各チームの登録選手は、JFA発行の選手証（写真を貼付したもの）を持参すること。
ただし写真貼付により、顔の認識が出来るものであること。

※選手証とはJFA WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

19：表彰：以下を行う。

(1)各グループの優勝チーム：トロフィーおよび表彰状を授与する。

(2)キャッチフレーズ賞：表彰状を授与する。

サッカーを楽しむ気持ち、大会に臨む意気込み、目標等を五七五のキャッチフレーズにする。
サッカーにかける気持ち等を素直に表現し試合中に体現できたチームを対象として選出し賞を与える。

20：交通・宿泊 各チームにて対応すること。

21：傷害保険 チームの責任において傷害保険に加入すること。

22：応急処置

リーグ開催中に疾病・障害が発生した場合、大会側は応急処置のみを行うものとする。

23：その他

(1)会場使用については、会場責任者に説明を受け、マナーを守って使用すること。

(2)本要項で掲載されていない事項や不測の事態が起こった際には、第4種委員会にて協議し決定する。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の感染防止対策として参加チームはそれぞれ感染対策責任者を設置。また、新型コロナウイルス対応版チェックリスト（大会参加チーム用）及び健康チェックシートにより、大会参加中の新型コロナウイルス対応をするとともに、大会時に感染があった場合の濃厚接触者が確認出来るようにすること。

以上